

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	ロンドン議定書実施のための不発弾陸上処理費	事業開始年度	平成19年度	作成責任者		
担当部局庁	地球環境局	担当課室	環境保全対策課	課長 瀬川 俊郎		
会計区分	一般会計	上位政策	地球環境の保全			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	陸上で発見される不発弾について従来行われてきた海洋投棄処分を中止し、民間委託事業として陸上処理施設で安全かつ確実に処理させることにより、我が国周辺の海洋環境の保全に寄与する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成19年度に発見され、陸上自衛隊が安全化措置を実施した不発弾(約13トン)について、平成22年度末までに民間事業者処理に処理させるものである。 また、受託業者による不発弾の処理等が適切に実施されるよう陸上自衛官が所要の指導監督を行う。 なお、この不発弾の処理に当たっては、受託業者が不発弾の処理に必要な施設の整備から行わなければならない、平成19年度当初から処理が完了するまでに長期間(3年以上)を要することから、4年の国庫債務負担行為として事業を行っている。					
実施状況	平成19年度に民間業者に処理委託をした不発弾(約13トン)のうち、砲弾、艦砲弾及び手りゅう弾等の処理を行った。 平成19年度の歳出化分 平成20年度の歳出化分 平成19年度～21年度国庫債務負担行為の21年度歳出化分 平成19年度～22年度国庫債務負担行為の22年度歳出化分					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	84	105	222	394	
	執行額	58	8	222		
	執行率	69%	8%	100%		
	総事業費(執行ベース)	58	8	222		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	事業実施に当たり、毎月、監督官が現地に赴き作業の実施状況及び翌月の作業計画について業者と事後の処分実施計画と監督業務の調整を行っており、事業実施状況及び用途については十分に把握できる。				
	見直しの余地	過去の実績を参考とし、引き続き競争性のある契約を実施し、事業の進捗状況を随時把握すると共に、効率的に事業が行えるよう仕様書の検討・見直しを行い、より効率・効果的な予算執行を行う。				
予算チームの監視・効率化						
補記						

環境省
222百万円

ロンドン議定書実施のための不発弾陸上処理費

【目的】

陸上で発見される不発弾について従来行われてきた海洋投棄処分を中止し、民間委託事業として陸上処理施設で安全かつ確実に処理させることにより、我が国周辺の海洋環境の保全に寄与する。

【支出委任】

防衛省
222百万円

【一般競争入札・請負業務】

A. 日興技化㈱
220百万円

不発弾等処分業務

【内容】平成19年度に発見された不発弾等の処分

※その他防衛省職員のための旅費 1.7
百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. 日興技化㈱			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
不発弾廃棄 処理業務庁 費	契約相手方 日興技化㈱への部分払い	220			
計		220	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0